

Dear Stanley :

なぜ培地性能試験で平行試験を推奨するのでしょうか？

[Stanley Staphylococcus](#) 2018年8月23日



Stanley ^

Microbiologics 社製品を使用して培地性能試験を行う場合は、以前に承認された培地と並行して試験することを推奨しますか？米国薬局方（USP）、欧州薬局方（EP）、日本薬局方（JP）には並行して試験をするという記載はありません。これらの局方には、「乾燥した培地または記載された成分から調製された培地の各バッチを試験する」と述べています。

敬具

Joe より

ニュージャージー州ニューアーク

Joe へ

これは大きな問題です。USP、EP、JP に従いますと、培地性能試験（GPT）を実施する際に、以前に承認された培地と並行試験する必要はありません。しかし、培地性能試験に問題や障害が生じた場合には、並行して試験することで、調査時間を短縮することができます。

並行試験により、次の変数が削除されます。

- **技術者の個人差**：溶解液は技術者が個々のピペティングと接種技術により準備されます。
- **培養温度**：すべてのプレートは、培養時間中、同じ温度および温度の変動にさらされます。
- **培養庫内の時間**：全てのプレートを同じ時間培養します。
- **微生物の懸濁液**：懸濁液は同一の水和溶液とペレットから 1 人の技術者によって調製されます。

したがって、並行試験を行うことで、培地のみが変数となります！ それでは、平行試験とはどのように行えばよいのでしょうか？ 前回、承認された培地のロットから平均をカウントして、2 の係数が計算されます。新ロットの平均数は、成長促進のためにロットを通過するには、この 2 倍に収まる必要があります。これは、あなたが比較しているものが、培地性能が実行されている時の研究所の同じ設備、技術、条件を使用して決定され、新しいロットの培地性能の真の尺度を与えることを意味します。

培地性能試験のヒントについては、[【培地性能試験のベストプラクティス 8】](#)をご覧ください。1 対 1 のガイダンスをご希望の場合は、当社のテクニカルサポートチームが、お客様の製品に関するご質問にお答えします。

Microbiologics 社 BLOG を翻訳しております。原文は下記リンクでご確認できます。※日本語訳は原文解釈の参考としてご利用下さい。

<http://blog.microbiologics.com/dear-stanley-why-we-recommend-testing-in-parallel-for-growth-promotion/>

ご不明点、ご質問、製品のお問い合わせに関してはレーベン・ジャパン株式会社までお気軽にお問い合わせ下さい。

レーベン・ジャパン株式会社 埼玉県越谷市川柳町 3-110-8

TEL：048-961-1781 FAX：048-961-1782

メールでのお問い合わせ：info@raven-japan.com

Microbiologics 社製品紹介 URL：<http://raven-japan.com/>